

5. 使い易い端末とコミュニティ向けサービスの提供

- H21年度に1,000名のモニターを募集して実施した「フィールドトライアル」で頂いた多くの意見・要望をもとに、日常生活で便利に使うための配信ビジネスモデルを複数の事業者と検討。
- 情報配信者と情報利用者を結ぶ新しいコミュニティ向けクラウドサービスをH22.11月より本格提供予定。
- インターネット未利用・低利用のお客様でも、光サービスを手軽にご利用いただける端末・サービスの料金メニューを検討。

使い易いサービス

生活に密着した利用シーンの提案

使い易いクラウドデバイス

「情報配信者(Business)」と「情報利用者(Consumer)」を結びつける
「コミュニティ」に利用シーンを提案

情報配信者(Business)

生活を「便利」にするサービス

「つながり」を強めるサービス

情報利用者(Consumer)

「コミュニティ向けサービス」

- 会員等特定のメンバーに対して、情報をプッシュ配信し、必要なレスポンスも収集可能なビジネスモデルを実現
- オープンな仕様、開発ツールの提供やサービス開発支援体制の構築により、情報配信者をサポート
- 安価な費用で、信頼性の高いプラットフォームが利用可能



ネットスーパー

- 電子チラシ
- タイムセール
- クーポン



自治体

- 移動図書館案内
- 住民アンケート



地域コミュニティ

- テニスコート空状況
- サークル募集
- カルチャー講座



配信サーバ

- 商品閲覧
- 注文



会員



住民



コミュニティメンバー

- 貸出し予約
- 回答

- 予約
- 申込み

「光iフレーム※1」

- 家族共通のクラウドデバイス
- 「知りたい情報」を自動受信
- Android™※2を採用。タッチパネルで簡単操作、無線LAN対応
- ラジオやデジタルサイネージとしての利用も可能な多用途端末



※1 “光iフレーム”はNTT東日本の商標(出願中)です。 ※2 “Android”はGoogle Incの商標または登録商標です。